

那珂市複合型交流拠点施設「道の駅」整備

第1回検討委員会 開催概要

「道の駅」整備に向けて、検討委員会を開催しました

那珂市では、那珂インターチェンジ周辺地域を核とした活力あふれるまちづくりの実現に向け、複合型交流拠点施設「道の駅」の整備について検討を進めています。

道の駅の整備に向け、学識経験者や市内事業者、市民代表らが参加し、検討委員会を実施しました。6月3日に行われた検討委員会では、これまでの検討経緯や今後の整備の進め方を共有し、基本理念・コンセプトや立地計画について意見交換を行いました。

今後は、委員の皆様の見解や市の課題、道の駅設置による効果、周辺地域との協働・連携などを慎重に考慮した上で、具体的な道の駅の機能を検討していきます。

■ 主な協議内容

- ・これまでの検討経緯について
- ・今後の検討の進め方について
- ・道の駅実現に向けたロードマップについて
- ・基本理念・コンセプト(素案)について
- ・立地計画について



市長挨拶



委員による意見交換



事務局の説明



検討委員会の様子

委員からの主な意見

- 那珂インターチェンジ周辺の立地を生かす必要がある。
- 外から来た人だけでなく、地域住民の参画が重要な施設であると考えている。
- 市民が集える場所や滞在していて心地よい場所を市民目線で考えていく必要がある。
- 那珂市のブランディング等も考慮しながら、コンセプトを検討すべきである。
- 常陸大宮市や常陸太田市の道の駅との連携による販路拡大や取組等を考えていくべきである。
- 雨の日でも子どもが遊べるような施設等、子育て世帯に配慮すべきである。
- 車を所有していない若い学生やお年寄りにとって、道の駅までの移動手段を確保する必要がある。

まとめ: 活発な議論が行われ、特に道の駅の基本理念・コンセプトについて意見が挙がりました。委員の皆様から頂いた貴重な意見を踏まえ、道の駅の整備について検討を進めていきます。

今後の検討委員会のスケジュール (予定)

